

東建パブリニュース

2020年10月12日

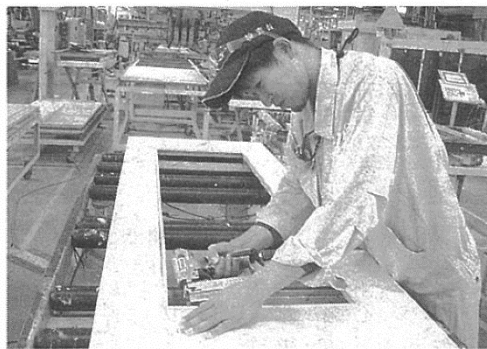
経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

2020年10月7日 日刊木材新聞 P.5

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。



建具ラインで作業する落合氏

に作業やシステムの改善に取り組んだ。目標としていた30%の生産性向上を見事に達成し、今年4月期のナスラック工場部門優秀社員賞を受賞



住宅設備機器メーカー、ナスラック（名古屋市、左右田善猛社長）の大型拠点である

出雲ダントニ工場（島根県出雲市）の製造課班長として活躍する落合孝徳（おちあい・たかのり）氏は、入社16年目の35歳。同工場の建具ラインの改善に

ナスラック出雲ダントニ工場製造課班長 落合孝徳氏

建具ラインの若きリーダー

行動で人財育成につなげる

落合氏は現在、建具ラインの班長として日々の生産計画を立てて実績を管理し、生産ラインでは負荷の掛かる工程の補助や品質のチェック、安全確認などを行っている。1日にとっく、日々の生産目標に対して班員全1回には各社員に声を掛けてコミュニケーションを取り、目標を達成する。特に後輩には笑顔で話し掛け、会話の際に建具班だけでなく他の部署の状況も把握し、応援するなど人員配置の最適化に協力し、顧客が求める品質と納期を最優先に考えて対応する姿は、生産ラインの若きリーダーとして上りや同僚・部下から厚い信頼を得ている。自分自身の行動が人財の育成につながる。今後は、リーダーとして取り組みたい事項は、1つ目は若手社員への育成。若手が発言し、それぞれの力量アップを支援していく。2つ目は生産性と品質の向上。双方をさらに引き上げることで、他社に負けない建具ラインを作り上げたいとしている。

以上